KITASHIBA
www.kitashiba.co.jp

電気炉サービスセンター（名古屋）のご案内

【メーカー問わず誘導炉のことは全てお任せください、迅速に対応いたします】

製作実績（高周波炉：1800台　低周波炉：700台）から培った
各種ノウハウを提供させて頂きます。

トラブル対応・点検・修理

- トラブル対応
  - 専門技術員が常駐しています
  - ストック予備品による緊急対応が可能です
- 細密点検
  - ご予算に応じた設備点検を承ります
  - 点検結果に基づく適切な修理・予防保全の提案を致します
- 修理
  - 炉体オーバーホール含め各種修理承ります
  - 各種予備品の相談承ります

無償点検サービス

- プロのサービスマンによる点検（平日限定）
- 東芝・北芝炉をご使用のお客様には定期巡回サービスを実施しています

築炉前の親ライニング（コイルセメント）点検をお勧めします。ご検討下さい。

北芝の親ライニングは高強度です。
クラックの発生も少なく腐食性ガスへの耐性についても優れています。
万一を考え、耐熱性は親ライニングに溶湯が達してもコイルを安全に守れるよう1800℃に耐える最高級の材質を使用しております。
安全かつ長寿命・経済的です。

耐火材メーカーと共同開発した
北芝だけの誘導炉用オリジナルブレンドのセメントです

マイクロメルタ／3相200V受電
（オンベース3日後に出湯可能）

スーパーユニット形高周波炉
（オンベース7日後に出湯可能）

お問合せはお気軽に下記営業所まで！

名古屋営業所　：052－528　－1373　担当：高橋、斎藤
関 西 支 社　　：06 －4704－1630　担当：熊田
九 州 営 業 所　：092－474　－7545　担当：千葉

北芝電機（株）西日本電熱サービスセンター　TEL：052-506-9110　（FAX：9140）E-mail:densa@kitashiba.toshiba.co.jp
名古屋市西区あし原町65

KITASHIBA

誘導炉設備を安全に使用するために

●誘導炉設備の保守・点検は十分でしょうか？

★誘導炉は高温溶湯、高電圧電気、水、油を使用している設備です。
★点検を怠り定期的な消耗品の交換を行わないと、**故障や爆発、火災、人身事故**などを引き起こします。
★何か変だなと思ったら操業を停止して、点検を実施して下さい。

●安全管理や正しい保全方法について不安はありませんか？

★点検の際は安全に十分配慮下さい。特に電気品の取扱いは**有資格者に限定**されますよう、お願いいたします。
★安定操業のために**出張教育**を行っております。作業者教育にお役立て下さい。

原理、効率的操炉編

出張教育風景

保守・安全編　　**溶解技能士教育編**

●保護装置が動作した場合は適正な処置を実施して下さい。

★原因を確認せずに通電・操業を継続すると**爆発、火災、人身事故、環境汚染**など重大事故を誘発することがあります。
★設備の状態を点検する巡回サービスのほか、より専門的に設備を診断し、適切なアドバイスを行う**設備診断**もございます。

●セーフティーガード、保護の多重化などご相談下さい。

高圧受電盤

故障した場合は通電、遮断が不能となります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：6ヶ月毎	
●電力ヒューズ	
・自然溶断する場合もあります。	■予備電力ヒューズ

高調波フィルタ

低周波炉にはございません

故障した場合は通電不能となります。

状況により火災・爆発の可能性もあります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：6ヶ月毎	
●リアクトル・コンデンサ	
・油漏れ、ケースの変形をチェック。	→交換

炉体

湯漏れは爆発、火災、人身事故発生の恐れ有り。

異常発生により操業不能となります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：リライニング時	
●ライニング（キャスタブルセメント）	■湯漏れ網及び副資材
・クラック、ボロツキ、浮き上がりの状況	→補修
・湯漏れ検出網に断線が無いか確認。	
周期：毎日	
●湯漏れ検出装置	
・メーター動作の確認	→アース線の埋まり

異常の放置は炉のダメージを助長します。

早期の復旧には予備炉体が有効です。

周期：6ヶ月毎	
●コイル	■予備炉体または予備コイル
・巻き戻り、せり上がりのチェック。	→巻き戻り30mmで修理
●水冷リード線・水冷ホース	■予備水冷リード
・表面の亀裂、焼損のチェック	
●油圧シリンダー	
・異音、ノッキング、クッションの状態	→調整・清掃
●鉄心	
・変形、錆、汚れの程度をチェック。	→清掃・交換

※機器の形式によっては装備してない部品もございます。

※本書は最低限の項目のみ載せてあります。保守点検の詳細内容は、各々の取扱説明書に従って下さい。

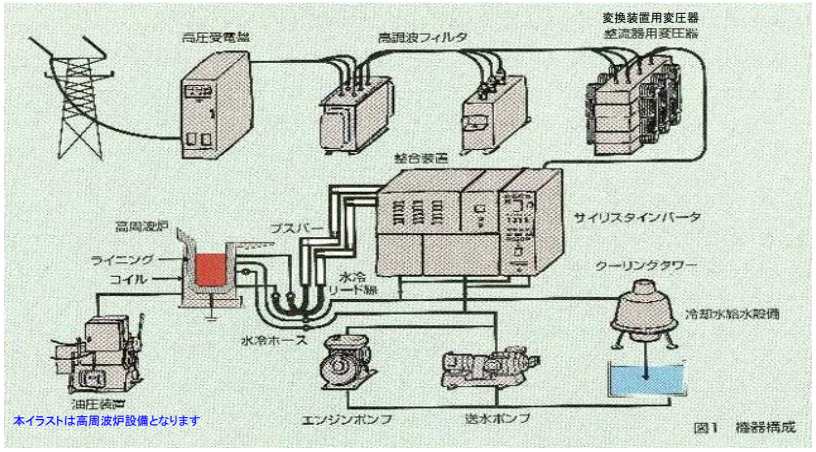

図1　機器構成

冷却水設備

故障・通水不能の場合は通電不能となります。

通水出来ない場合、コイルを焼損します。

［点検］	［対処・予備品］
周期：6ヶ月毎	
●配管・コイル・冷却塔・水槽	→定期的清掃
周期：毎日	
●炉体・受電機器・整合装置・盤など各機器	

炉切換機

故障した場合は運転操作不能となります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：6ヶ月毎	
・接触部の表面状態に異常無いか確認。	→分解整備・交換
・駆動部のグリス状態をチェック。	■グリス補給
・水漏れ無いか。	→ホース交換
・粉塵の堆積は無いか。	

変換装置用変圧器

故障した場合は長期操業が停止します。

損傷箇所次第では一式新製が必要となります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：1年毎	
●変圧器本体	
・絶縁油ガス分析で劣化をチェック	→設備計画

サイリスタインバータ

低周波炉にはございません

故障した場合は通電不能となります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：1年毎	
●純水冷却系統	■イオン交換樹脂
・イオン交換樹脂交換、純水レベル確認	■補給用純水
周期：6ヶ月毎	■予備スタック
●電源部・制御部	■予備制御基板
・盤内や基板の汚れ、変色をチェック。	■アームヒューズ

整合装置

故障した場合は通電不能となります。

絶縁破壊した場合、火災の可能性があります。

［点検］	［対処・予備品］
周期：6ヶ月毎	
●コンデンサ	■予備コンデンサ
・油漏れ、ケースの変形をチェック。	
●整合変圧器・タップ切替機	
・端子部の変色、緩みの有無チェック。	→増し締め
・水漏れ無いか。	→ホース交換

設備全体

周期：6ヶ月毎
●炉体・受電機器・整合装置・盤など各機器　→清掃
周期：毎日
・定格溶湯が出来た時点で電気データ全てを記録する。

設備の保守、診断、教育のご用命はサービスセンターまで　電話　052－506－9110

北芝電機株式会社